



令和5年度 越前町立四ヶ浦小学校 スクールプラン

**越前町
学校教育目標**
すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現
学校教育方針
個性と協働が共存する学校教育

【教育目標】 「自ら求めて、一生懸命やりぬく子」の育成
【校訓】 はげまし合う子 元気な子 自ら学ぶ子
(めざす子ども像)

児童の実態より、保護者・教師等の願い
○心身の健康
○学力の向上
○生きる力の育成
○自立・協働・創造

【研究主題】 主体的に考え、共に学び合う子の育成 ~子どもが考え学ぶ授業作り~

重点目標	具体的な取組	数値目標
知 自ら学ぶ子 学力向上 学びに向かう力	○子どもが考え学ぶ授業 (研究教科:国語科) ○input から output へ。 「教師が話す時間」の削減。 ○子どもの個別最適な学び、主体的・協働的な学びの実現のための ICT 機器の活用。 ○隙間時間のデジタル教材の活用。 授業中の無駄時間を学びの場に。	○「毎日の授業で、話し合いなどに進んで参加している」と答える児童を90(65)%以上にする。 ○「毎日の授業がよく分かる」と答える児童を90(65)%以上にする。 ○標準学力調査や SASA で、「国語」の評価が目標値を上回る児童を70%以上にする。
体 元気な子 体力向上 心身の健康	<体力向上・健康管理> ○体と心が育つ体育授業。 ○子どもが目標を持って取り組む業間体育や体育的行事。 ○after corona の健康管理。 <健康で前向きな心> ○前向きで明るい心の育成。 (ポジティブ教育) ○折れない心や快復力の育成。 (レジリエンス教育) ○自分の良さや可能性を認識し、あらゆる他者をリスペクトし協働できる心の育成。(道徳教育) ○情報モラルの強化。家庭と連携し、実践力の育成。	○「業間体育や体育的行事に向けて、目標を持って取り組めた」と答える児童を90(80)%以上にする。 ○「after corona における安全対策を徹底できた」と答える教職員を100(100)%にする。 ○「自分にも他の人にも良いところがある」と答える児童を90(80)%以上にする。 ○「スマートルールや情報モラルを知り実践した」と答える児童を90(80)%以上にする。
徳 はげまし合う子 児童が育つ 生徒指導 学級経営	○一人一人が学級の一員であることが実感できる学級作り。 (居場所作り) ○高学年を中心とした縦割り班活動や委員会活動の活性化。 (絆作り) ○一人一人の役割や活躍・頑張りの見える化。 ○子どもが本気になって取り組む活動を仕組む。 ○子どもも大人も当事者意識を持って参画する、学級・学校作り。	○「より良い学級・学校になるように、自ら進んで考え行動した」と答える児童を90(65)%以上にする。 ○「学校が楽しい」と答える児童を90(80)%にする。 ○「みんなで何かをするのは楽しい」と答える児童を95(85)%以上にする。

みんなの笑顔のための業務改善

- ①日課表を見直し、放課後の業務時間を確保
- ②学校行事、文書事務の効率化(行事終了後、即次年度用を作成)。会議資料の電子化。
- ③会議終了時刻の明記。時間を意識して運営。延ばさない。